

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		環境技術開発センター運営事業		課名	工業課	事業No.	224
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称		
		戦略計画					
		分野別計画			地域経済活性化プログラム		
		法令・例規等			飯田市環境技術開発センター条例 桐林環境産業公園環境宣言		
事業目的		対象	起業、研究・技術開発に取り組む企業・個人				
		意図	起業による事業者数の増加と、研究・技術開発による企業の基盤強化				

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	インキュベートマネージャーを配置し、センターの管理及び運営を行うとともに、産業センターのコーディネーターも加わり、入居企業の研究開発から事業化、企業が抱えている課題に対する相談まで総合的な支援を行いました。入居状況は、年度当初は1社（電磁環境研究所）が入居し2室活用、年度途中に1社（コネクト）が新たに入居。空き室に対しては、コロナ緊急経済対策で取り組んだサテライト・オフィス誘致の補助制度と連動し、地域内外からの施設利用を促進するために、WEBによる情報発信や誘致活動を展開しました。例年実施している研究成果発表会については、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。		施設清掃等業務委託料					310		
			施設設備保守点検業務委託料					258		
			警備業務委託料					370		
			廃棄物等処理業務委託料					110		
			桐林環境産業公園連絡会負担金					12		
			会計年度任用職員人件費					2,822		
			その他の経費					883		
			活動指標		指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
							計画	実績	計画	実績
			新規創業者数	社	1	0	1	0		
		入居企業数	社	4	4	4	4			
		開発件数	件	4	3	4	4			
2年度決算(千円)		予算額	5,357	特定財源内訳及び補足事項						
		決算額	4,765	(そ) 環境技術開発センター入居企業共益負担金 700千円						
財源の状況		国庫支出金	0	(そ) 桐林環境産業公園駐車場使用料 591千円						
		県支出金	0	(そ) 一本平産業団地駐車場使用料 117千円						
		地方債	0							
		その他	1,408							
		一般財源	3,357							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	1	3	2,823	2,822	会計年度任用職員人件費
2	1	7	1	5	13	2	2,534	1,943	環境技術開発センター運営事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		現在3室が空きとなっており、入居企業の確保が必要です。コロナ禍における都市部から地方移転の動きがあることから、その受け皿として大きな機会と捉えています。働き方改革、テレワークの導入などにより多様な利用形態のニーズが高まっており、施設の入居要件等の見直しも検討していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		本施設とエス・バード内のインキュベート室とあわせて地域内外へPRを図りながら、様々な企業の用途やニーズに応えられるように、環境技術開発センターの施設の入居条件等を再点検し、スピーディーかつ柔軟な対応により入居の促進を図ります。							
次年度に向けての取り組み		本社機能やサテライトオフィスをはじめ、企業・研究機関等の誘致に向けた受け皿の一つとして、エス・バードのインキュベート室とあわせて誘致活動を展開していきます。							